

# 令和6年度 下多度地区福祉活動計画

## 重点課題

子どもたちの安全・安心な登下校環境の確保

## 事業名

通学路安全確保事業

## 地域の課題（背景）

- ・少子化の進行に伴い児童数も少なく、下校時にも目立たないことから、交通事故が懸念される。
  - ・相変わらず、不審者による下校中の児童に対する声掛け、つきまといなどの事案が、県内で年間500件ほど発生している。
- 2月半ば、津屋地区内の路上でも、下校中の児童たちにスマホを向ける事案が発生していることから、他人事ではなく地域の児童の安全・安心が脅かされている。

## 推進方法【地域で出来ること（互助）をより具体的に記入】

- ・下多度小学校、PTAなどと協力し、通学路の安全点検を継続し、通学路の安全確保を図る。
- ・スクールガードボランティアによる、下校時の見守り活動を継続する。  
第1・第3水曜日を基準に、下多度小学校と調整して、月2回実施する。

## 自助(自分でできること)

- ・地域住民による、児童を見かけたら、登下校時のみならず声掛けと挨拶活動を行う。

## 公助（行政や社協に依頼すること）

# 令和6年度 下多度地区福祉活動計画

## 重点課題

自然や地域を生かした子どもの遊ぶ機会の創造

## 事業名

子どもの活動を豊かにする事業

## 地域の課題（背景）

- ・ますます子どもの人数は減少し、下多度小学校では、令和6年度から複式学級になる。
- ・地域の良さや、自然の大切さを子どもたちに植え付ける機会を与えたい。

## 推進方法【地域で出来ること（互助）をより具体的に記入】

- ・地域の小学校、子ども育成会と協力して、多くの子どもや父母に参加してもらい、講師を招いて地域の歴史の学習や、自然の素晴らしさを感じてもらいたい。
  - ① 外来魚の駆除事業と生態系の勉強会の実施
  - ② お寺での歴史の勉強会と縁日
- ・地域で活躍している団体や個人にも協力していただき、事業を展開する。

## 自助(自分でできること)

家族や近隣の知り合いに、開催される行事への参加を呼びかける。

## 公助（行政や社協に依頼すること）

講師の派遣 PR活動

# 令和6年度 下多度地区福祉活動計画

## 重点課題

高齢者の買い物や通院の手段が少ない

## 事業名

高齢者移送サービス事業

## 地域の課題（背景）

- ・下多度地区の高齢化率は市内でトップクラスで、高齢者のみの世帯は増加し続けている。
- ・自動車運転免許の返納も含め、通院や買い物に困っている高齢者が多くいる。
- ・高齢者の親族は海津市外が多く、気軽に頼れない。

## 推進方法【地域で出来ること（互助）をより具体的に記入】

- ・従来から進めている高齢者移送サービス事業を、協力会員の無理のない範囲で継続実施する。
- ・引き続き協力会員の募集を行う。
- ・スマートフォンを活用して協力会員相互の連携を図り、負荷の平準化を図る。
- ・デマンドバスの活用や、近親者による送迎を優先するよう、利用会員に要請する。
- ・福祉目的から逸脱しない利用を、利用会員に要請する。
- ・移送サービス事業への積極的な参加を、自治会、民生委員児童委員等に要請する。

## 自助(自分でできること)

- ・公共交通機関の利用、近くに住む親族に送迎を依頼する。

## 公助（行政や社協に依頼すること）

- ・協力会員へのインセンティブ制度の導入
- ・国に対して、大都市だけでなく地方への「ライドシェア制度」の早期導入の要請

## 令和6年度 下多度地区福祉活動計画

### 重点課題

高齢者の生活支援ニーズが多岐にわたり拡大している

### 事業名

生活支援「ちょこっとお手伝い」事業

### 地域の課題（背景）

高齢化が進み、生活全般にわたり支障をきたす家庭が急増している。

### 推進方法【地域で出来ること（互助）をより具体的に記入】

介護の資格がなくてもできる「ちょこっとお手伝い」で、高齢者に寄り添う生活支援を行う。

### 自助(自分でできること)

気心が知れた間柄を構築し、協力会員が実施できる支援を、無理のない範囲で対応していく。

### 公助（行政や社協に依頼すること）

生活支援ニーズを民生委員児童委員や自治会、市社協と共有し、地域全体での支援に繋げる。

# 令和6年度 下多度地区福祉活動計画

## 重点課題

- ①住民同士の交流機会が少ない
- ②高齢者の交流する機会が減少している

## 事業名

しもたどフェスティバル開催事業（協働開催）

## 地域の課題（背景）

- 1) 自治会単位の交流事業は実施しているが、地区全体の交流の場が少ない。
- 2) 子どもをはじめ、各年代が一堂に集まる機会や顔を合わせる機会がないと思われる。
- 3) 地域全体で集まり、会話し、笑い楽しみ、顔見知りになることで、地域交流が深くなると考えている。
- 4) コロナ感染防止対策で、3年間地域での交流が一段と減少して、交流の場を創ることがより一層必要と思われる。

## 推進方法【地域で出来ること（互助）をより具体的に記入】

- 1) 地域交流会の開催：「しもたどフェスティバル」の開催
- 2) 開催日：令和6年8月14日（水）に開催を計画
- 3) 会場：プラザしもたど（駐車場前面＋コミュニティーセンター含む全館）
- 4) しもたどフェスティバル実行委員会に加わり、新型コロナウイルス感染対策も含めた部会活動を実施する。
  - ①「ぬり絵・射的・ストラックアウト・輪投げ」等を企画して実施する。
  - ② 新規イベントを企画して実施する。
- 5) 自治会・中学校・小学校等に周知して、協力を要請する。
- 6) 中学生・小学生等、各種団体や個人に参加を募る。
- 7) 新型コロナウイルス感染症防止対策を、海津市・自治会・実行委員会等の関係者と相談して実施する。
- 8) 真夏の開催で最近の危険な暑さであり、スタッフ・参加者年齢を考慮した対策を考慮して実施する。
- 9) しもたどフェスティバル実行委員会に計画を提案し、実行委員会に加わって活動する。
- 10) 地域の住民と共に、常に新たな企画を検討して、積極的に取り組んで行く。

## 自助(自分でできること)

地域住民との交流を図るため積極的に参加するとともに、家族や近隣の知り合いにも参加を呼びかける。

## 公助（行政や社協に依頼すること）

- 1) 下多度自治会を始め、中・小学校等へ協力をお願いして参加を募る。
- 2) 開催についての後援・場所の許可・広域広報等の協力を、海津市・教育委員会・市社会福祉協議会等へ依頼する。

# 令和6年度 下多度地区福祉活動計画

## 重点課題

防災意識の高揚と、各家庭の備えの強化

## 事業名

啓発活動による、大規模災害に対する備えの大切さの周知

## 地域の課題（背景）

- ・南海トラフ大地震の防災対策推進指定区域内にあり、大規模災害が危惧される。
- ・養老山地の東裾野の扇状地にあるため、集中豪雨や台風による土石流が懸念される。
- ・以上の危惧や懸念に対し、防災意識や各家庭における備えが不十分である。  
令和4年2月に実施した防災アンケートの結果  
(防災意識や各家庭の備えに関する大半の項目が、100点満点の10点台～30点台と極めて不十分な結果であった)

## 推進方法【地域で出来ること（互助）をより具体的に記入】

- 啓発活動の推進
  - ・防災かわら版 → 2ヶ月に1回発行
  - ・防災ポスター → 9月に更新
  - ・研修会の開催
- 自主防災組織への働きかけと提案
- 避難所の開設、運営方法の勉強会

## 自助(自分でできること)

- ・「自分の身は自分で守る」よう、地域住民によるコツコツ防災活動

## 公助（行政や社協に依頼すること）

- ・避難所開設・運営に関する指導と助言

# 令和6年度 下多度地区福祉活動計画

## 重点課題

高齢者の交流機会が少ない

## 事業名

しもたどサロンの開催

## 地域の課題（背景）

- ・高齢化が年々進んでいる。
- ・地域内のひとり暮らしの高齢者が多い。
- ・自治会を超えた、他の方との交流機会が少ない。
- ・地域内では、自治会区域のサロンがあり、活動しているが、サロン間での交流がない。

## 推進方法【地域で出来ること（互助）をより具体的に記入】

- ・下多度地区全体を対象とする「しもたどサロン」を開催する。（時期未定）地域の多くの高齢者の集いの場となるように、「ひとり暮らし高齢者の集い」を兼ねて実施する。
- ・自治会区域で行われているサロンを通じて、広く呼びかけを行う。
- ・新型コロナウイルス感染症は、第5類に変更後も一定の感染が見られる。令和6年度も慎重に判断しながら、早めに関催の判断をしていく。
- ・高齢者が感染した場合、重症化することが多いことから予防のため、マスクの着用、手指の消毒等、リスクを極力少なくできるよう対策を講じて実施する。
- ・食事に関しては、持ち帰り等、検討をしていく。
- ・リーフレットを作成し、サロン等、参加の呼びかけを行う。
- ・他地区のボランティア活動の内容を参考にする。

## 自助(自分でできること)

- ・地域住民との交流を図るため積極的に参加するとともに、近隣の高齢者にも参加を呼びかける。

## 公助（行政や社協に依頼すること）

- ・他地区での催し物の紹介や、ボランティア団体の紹介（市社協）